

「■現場からの報告」

いいたて結い農園への想い

Thoughts for "Yui Farm Iitate"

長正 増夫¹Masuo NAGASYO¹

要旨：阿武隈山系に位置する人口約 6,000 人の飯館村は、山間高冷地という立地条件下、広大な山野を活かした畜産、冷涼な気候を生かした花きや高原野菜栽培が高い評価を得ていた。しかし、平成 23 年 3 月の東京電力福島第一原子力発電所の原子力災害により、全村避難を余儀なくされ、村民は 6 年以上に及ぶ長期間の避難生活を強いられた。その結果、地域コミュニティや村民生活は根底から破壊された。いいたて結い農園は村のほぼ中央にある大久保・外内地域に位置している。避難解除後の平成 29 年に約 25 人の有志で作った「大久保・外内復興隊」の活動で、地域の人達が集うことや共同作業の大切さを改めて知った。そこで、今後も継続して地域での共同事業を行うため、令和 3 年 4 月に大久保・外内全世帯 (49 戸) が構成員となり、「いいたて結い農園」(一般社団法人) が設立された。特に参加者は高齢者が多いことに鑑み、今まで培った栽培技術や忍耐力を要する荳胡麻や蕎麦など、雑穀類の栽培と加工販売事業や、福島大学や都市部の消費者団体などとの交流事業を積極的に行っている。「高齢者になっても元気で働ける地域」「なんとなく楽しい結の郷」を目標に、原発事故で失われた地域の再生を図りたいと思っている。

キーワード：飯館村、原子力災害、全村避難、大久保・外内復興隊、いいたて結い農園、荳胡麻や蕎麦。

Abstract: Iitate Village, which is in the Abukuma Mountains and has a population of about 6,000, has been highly evaluated for its livestock farming that makes use of the vast mountains and the cultivations of flowers and highland vegetables that make use of the cool climate under the location conditions of high and cold mountains. However, due to the nuclear disaster at the Fukushima Daiichi Nuclear Power Station of Tokyo Electric Power Company in March 2011, the entire village was forced to evacuate, and the villagers were forced to evacuate for a long period of more than 6 years. As a result, local communities and villagers' lives were fundamentally destroyed. Iitate Yui Farm is in the Okubo-Gainai area, which is almost in the center of the village. Through the activities of the "Okubo-Gainai Reconstruction Team" made by about 25 volunteers in 2017 after the evacuation was lifted, we realized once again the importance of gathering local people and collaborating. Therefore, to continue to carry out joint projects in the region, 49 households in the Okubo-Gainai district became members in April 2021, and the "Iitate Yui Farm" was established. Considering that many of the participants are elderly people, they are engaged in the cultivation and processing and sales of minor grains such as perilla and buckwheat, which require patience and cultivation techniques cultivated up to now. In addition, we are actively engaged in exchange projects with Fukushima University and consumer groups in urban areas. With the goal of "an area where people can work energetically even when they become elderly" and "somehow a fun town of Yui," we would like to revitalize the area lost in the nuclear accident.

Keywords: Iitate Village, nuclear accident, Evacuation of all villages, Okubo-Gainai Reconstruction Team, Iitate Yui Farm, perilla, buckwheat

1. 飯館村とは

阿武隈山系の人口約 6,000 人の小さな飯館村。山間高冷地という立地条件下、藩政時代の天明や天保の大飢饉の際は、多くの餓死者や村外逃匿者が続出したため、村の存続が危惧される状況に陥ったといわれています。

こうした中にあっても先人たちは荒野や湿地を開拓し、広大な山野を活かした畜産振興にも力を入れ、昭和 31

¹いいたて結い農園

¹ Iitate Yui Farm

Corresponding Author*: mn257500@sea.plala.or.jp

2021 年 7 月 13 日受理

いいたて結い農園への想い

年頃には11,000人を超える村民が暮らせる村になりました。

特産の「飯舘牛」は中央市場でも高く評価されるようになり、冷涼な気候を生かした花きや高原野菜も、高い評価を得られるようになりました。また全国にも知られた「ほら吹き大会」や「若妻の翼事業」など、村民の自主的な活動も活発となり、「村おこし先進地」「日本一美しい村」として、全国的に脚光を浴びる村になりました。

2. 東京電力福島第一原子力発電所事故とその後の「いいたて結い農園」の設立

しかし、平成23年3月の東日本大震災に伴う、東京電力福島第一原子力発電所事故により、飯舘村は全村避難を余儀なくされ、村民は6年以上に及ぶ長期間の避難生活を強いられました。

このことによって、地域コミュニティーや村民生活は根底から破壊されてしまいました。

私たち大久保・外内地域は村のほぼ中央にある地域です。避難解除により帰還された世帯は15世帯（3割）でしたが、帰還有無に関わらず郷土への愛着は強く、解除後の平成29年に有志の人達約25人で、地域の農地を荒廃させないようにしようという趣旨で、「大久保・外内復興隊」をつくり週二回程度共同作業を行いました。

この共同作業により、地域の人達が集うことや共同作業の大切さを改めて知り、今後も継続して地域での共同事業を行うため、令和3年4月に大久保・外内全世帯（49戸）が構成員となり、「いいたて結い農園」（一般社団法人）を設立しました。

3. いいたて結い農園への想い

特に参加者は高齢者が多いことに鑑み、今まで培った栽培技術や忍耐力を要する荏胡麻や蕎麦など、雑穀類の栽培と加工販売事業をおこなっています。

また湿田などに花菖蒲などを植栽して、地域の環境美化にも力を入れています。

さらには栽培や商品の質的向上を図るため、福島大学や都市部の消費者団体などとの交流事業を積極的に行っています。

「高齢者になっても元気で働ける地域」「なんとなく楽しい結の郷」を目標に、原発事故で失われた地域の再生を図りたいと思っています。



写真1 荏胡麻の摘芯作業



写真2 収穫した荳胡麻のゴミ取り作業



写真3 荳胡麻から絞った荳胡麻油

いいたて結い農園への想い



写真4 荳胡麻入りビスコッティ



写真5 荳胡麻の実